

## 会社概要

(2020年9月30日現在)

### 会社の概要

|        |                                                                                                                                                                          |
|--------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 社名     | 株式会社 ヤギ                                                                                                                                                                  |
| 英文社名   | YAGI & CO.,LTD.                                                                                                                                                          |
| 創業     | 1893年(明治26年)10月16日                                                                                                                                                       |
| 設立     | 1918年(大正7年)4月28日                                                                                                                                                         |
| 資本金    | 1,088,000,000円                                                                                                                                                           |
| 主な事業内容 | 綿化繊糸、合繊糸、綿化繊織物、合繊織物、ニット生地及び衣料品等の各種繊維二次製品の国内販売ならびに輸出入                                                                                                                     |
| 主要な事業所 | (国内) 大阪本社 大阪市中央区久太郎町二丁目2番8号<br>東京本社 東京都中央区日本橋小網町18番15号<br>支店 福井(福井市)<br>出張所 名古屋(名古屋市)<br>営業所 和歌山(和歌山市)<br>(海外) 駐在員事務所 上海(中国)<br>ホーチミン(ベトナム)<br>ハノイ(ベトナム)<br>ダッカ(バングラデシュ) |

### 役員一覧 (2020年9月30日現在)

|              |           |
|--------------|-----------|
| 代表取締役社長      | 八木隆夫      |
| 常務取締役        | 山岡一朗      |
| 取締役          | 役 長 戸 隆 之 |
| 取締役          | 役 馬 渡 武 継 |
| 取締役          | 役 岡 本 富 雄 |
| 取締役          | 役 杉 岡 弘 康 |
| 取締役          | 役 濱 田 哲 也 |
| 取締役(常勤監査等委員) | 三 浦 明 石   |
| 取締役(監査等委員)   | 池 田 佳 史   |
| 取締役(監査等委員)   | 塩 田 修     |
| 取締役(監査等委員)   | 熊 谷 弘     |

(注) 取締役池田佳史、塩田修及び熊谷弘は、社外取締役であります。

(注) 本中間報告書中の記載金額及び株式数は表示単位未満の端数を切り捨てております。

## 株主メモ

|            |                                                                                                                                                                                                |
|------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 事業年度       | 4月1日から翌年3月31日までの1年                                                                                                                                                                             |
| 定時株主総会の基準日 | 3月31日                                                                                                                                                                                          |
| 剰余金の配当の基準日 | 期末配当 3月31日<br>中間配当 9月30日                                                                                                                                                                       |
| 単元株式数      | 100株                                                                                                                                                                                           |
| 株主名簿管理人    | 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号<br>三井住友信託銀行株式会社                                                                                                                                                              |
| 郵便物送付先     | 〒168-0063<br>東京都杉並区和泉二丁目8番4号<br>三井住友信託銀行株式会社証券代行部                                                                                                                                              |
| (電話照会先)    | 電話 0120-782-031(フリーダイヤル)<br>取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国各支店で行っております。                                                                                                                              |
| 公告の方法      | 電子公告とし、当社ホームページに掲載いたします。なお、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。<br>ホームページ<br><a href="https://www.yaginet.co.jp/ir/announce.html">https://www.yaginet.co.jp/ir/announce.html</a> |

**=YAGI=**  
MAKE A DREAM, 1 + ∞

株式会社 **ヤギ**

〒540-8660 大阪市中央区久太郎町二丁目2番8号  
<https://www.yaginet.co.jp>

**UD**  
**FONT**

見やすく読みまちがえにくい  
ユニバーサルデザインフォント  
を採用しています。

## 株式の情報

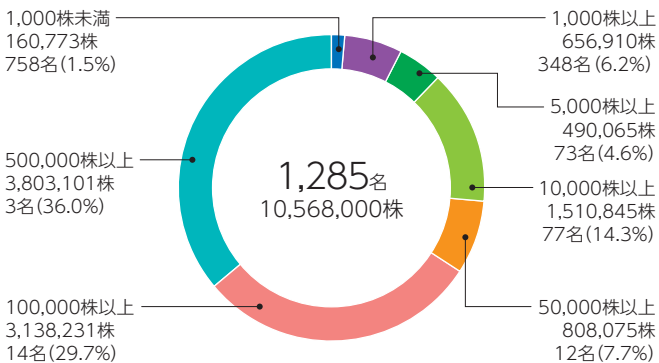
(2020年9月30日現在)

|          |             |
|----------|-------------|
| 発行可能株式総数 | 45,568,000株 |
| 発行済株式の総数 | 10,568,000株 |
| 株主数      | 1,285名      |
| 大株主      |             |

| 株主名                                                      | 持株数      | 持株比率      |
|----------------------------------------------------------|----------|-----------|
| ヤギ共栄会                                                    | 924 (千株) | 11.14 (%) |
| ゴールドマンサックスインターナショナル                                      | 612      | 7.38      |
| ビービーエイチ フィデリティ ピューリタン フィデリティ シリーズ インタリンシック オポチュニティズ ファンド | 450      | 5.42      |
| 株式会社みずほ銀行                                                | 410      | 4.94      |
| 株式会社三井住友銀行                                               | 380      | 4.58      |
| 株式会社三菱UFJ銀行                                              | 305      | 3.67      |
| ヤギ従業員持株会                                                 | 277      | 3.34      |
| 第一生命保険株式会社                                               | 250      | 3.01      |
| クロスプラス株式会社                                               | 229      | 2.76      |

(注) 持株比率は自己株式(2,266,036株)を控除して計算しております。

### 所有株数別分布状況



### 【住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について】

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

### 【未払配当金の支払いについて】

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

# YAGI REPORT

第  
109  
期

## 中間報告書

2020年4月1日→  
2020年9月30日

つむいっ。  
旅は、「独り」の方が楽だ。  
意見をぶつけ合う必要がない。  
自分さえ満足すれば良い。  
でも、その「独りよがり」から  
辿り着ける場所は、たかが知れている。  
だからヤギは、新しい未来を彩るために、  
あらゆる領域の人と人を紡ぎ、  
「繊維のその先」へ挑戦していきます。  
さあ志を共に、  
未踏の地まで行ってみよう。  
そこには、「紡ぐ」ことで  
見える景色があるはずだ。

**=YAGI=**  
MAKE A DREAM, 1 + ∞  
証券コード：7460

## 株主の皆様へ

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、社会・経済活動が大きな制約を受け、雇用情勢や個人消費は総じて弱含みの状態が続いております。緊急事態宣言の解除後は、徐々に持ち直しの兆しが見られるものの、引き続き感染拡大の影響を注視する必要があり、先行きは極めて不透明な状況といえます。

このような状況の下、当社グループは3ヵ年の新中期経営計画「MAKE A DREAM, 1+∞」を策定し、「経営体制の高度化」、「事業ポートフォリオの最適化」、「次世代事業の創出」、「サステナビリティの着実な実行」の4つの重点方針を掲げ、経営組織体制の強化、優良取引先との取り組み強化、ブランドビジネスの強化、当社グループとしてのエシカル活動であるYAGIthical(ヤギシカル)の推進といった様々な施策を推進しております。

しかしながら、依然として長引く新型コロナウイルス感染症による市況の停滞感を払拭することは出来ず、当第2四半期連結累計期間の経営成績につきましては、減収減益となりました。

今後におきましても、当社が1893年(明治26年)の創業以来築き上げてきた、信用と実績をさらに高めていくために、複雑な環境下でも適正な利潤を上げられるビジネスモデルを構築してまいります。株主の皆様におかれましては、なにとぞ一層のご理解、ご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2020年11月 代表取締役社長 **八木隆夫**

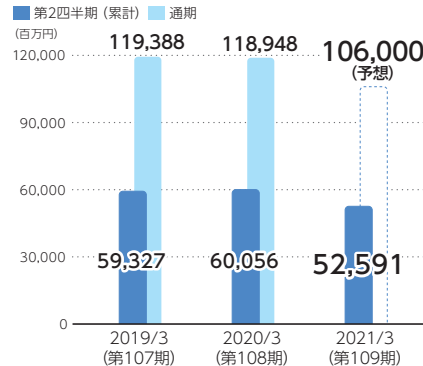
### 配当について

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営上の重要課題のひとつとして認識しており、安定した配当の継続と、経営基盤の強化に必要な内部留保をバランスよく実施していくことを基本的な考えとしております。しかしながら、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で今後

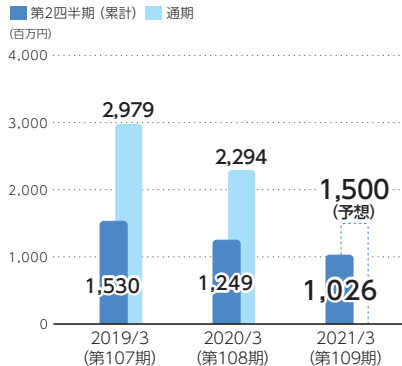
も事業環境が大きく変化することが予測されます。このような中で、上記の配当方針である安定した配当と内部留保のバランスを適正に保つため、第2四半期末の中間配当は見送りとさせていただきます。また、当期末配当金については1株につき35円を予定しております。

## 第2四半期財務ハイライト(連結)

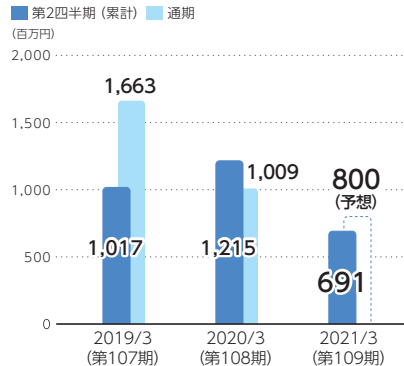
### 売上高



### 経常利益



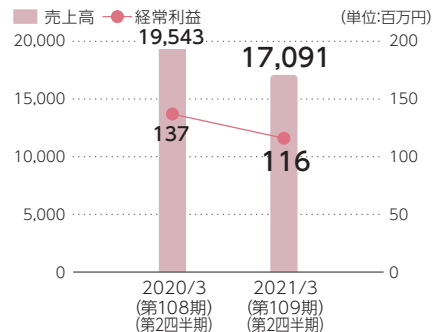
### 親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



## セグメント別の概況



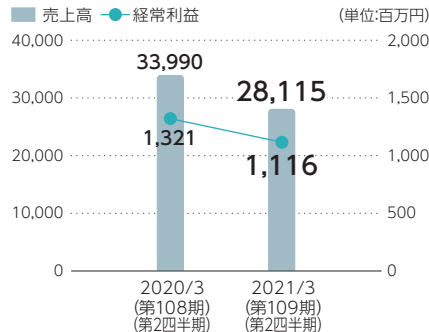
一部資材用途向け原料においては、堅調に推移しました。しかしながら天然繊維・合成繊維の各産地では、新型コロナウイルス感染症の影響から臨時休業となるニッター・染工場・加工場が多く見られ、稼働率が低下し活況を欠いた状況が続いております。この結果、売上高は17,091百万円(前年同期比12.5%減)、セグメント利益(経常利益)は116百万円(前年同期比15.6%減)となりました。



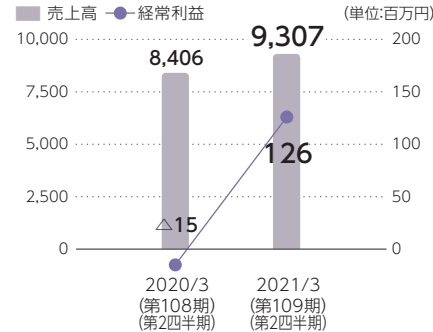
(※売上高構成比はこの他に、不動産事業0.6%があります。)



新型コロナウイルス感染症により、家庭内時間が増えた背景を追い風に、一部通販向け事業において活況が見られたほか、子供服、インナー、ルームウェアやワーク系商材は好調に推移しました。一方、駅ビルや百貨店等に店舗を展開する販売先は、軒並み売れ行きが不調に陥り、苦戦を強いられております。この結果、売上高は28,115百万円(前年同期比17.3%減)、セグメント利益(経常利益)は1,116百万円(前年同期比15.5%減)となりました。



ブランドビジネス事業においては、店舗への集客減により売上が伸びず苦戦が続いております。一方で生活資材事業や家庭内の抗菌・抗ウイルス商材、化粧品パフといったライフスタイル事業は比較的健闘しました。また機能素材マスクや生活雑貨商材の販売促進も積極的に展開してまいりました。この結果、売上高は9,307百万円(前年同期比10.7%増)、セグメント利益(経常利益)は126百万円(前年同期は15百万円のセグメント損失(経常損失))となりました。



## TOPICS

### サステナビリティの着実な実行

当社グループは、持続可能な社会の発展を目指したエシカルへの取り組みを総称して「YAGIthical(ヤギシカル)」と名付け、これまで以上に人や社会、環境に配慮した取り組みを行っています。



### 一般財団法人 PBP COTTON と2回目の共同展示会を開催

昨年、第一回を開催し大きな反響をいただいた、一般財団法人 PEACE BY PEACE COTTON(代表理事:葛西龍也)と当社との共同展示会「YAGI with PBP EX-Vision」の第2回目を、8月に開催しました。今回は当社グループ会社のツバメタオルが製造するオーガニックコットン製品の展示に加え、製品購入者が直接、現地農家を支援することが出来るスマートフォンアプリのデモ展示も行いました。また、4月にはPBP財団を通じて、新型コロナウイルスの影響を受けるインドのオーガニックコットン生産者支援の為に寄付も実施いたしました。



### コロナ禍における対応・社会貢献

#### ヤギグループの新型コロナウイルスへの対応

当社グループでは、地域社会の皆様、取引先様、当社グループ従業員の健康と安全を最優先に考え、社内に対策本部を設置して、衛生管理の徹底、在宅勤務の導入、Web会議の活用など、感染拡大防止に向けた対応を、国・各地方自治体の方針に基づき実施してまいりました。また、グループ社員とその家族に対してマスク配布を行う等、引き続き感染防止対策に取り組んでまいります。

### 機能素材マスク[EITORE](エイトワール)1万3千枚を都立特別支援学校に寄付

本年8月、当社は学校施設での新型コロナウイルス感染が増えていることから、子供たちの感染防止を目的に、当社が開発した、洗って繰り返し使える機能素材マスク[EITORE](エイトワール)1万3千枚(全生徒分)を、都立特別支援学校に寄付いたしました。コロナ禍の中で、当社が子供たちの為に出来る社会貢献は何かを考えた時、感染予防に取り組む教育関係者、学校関係者、学生の皆様に少しでもお役に立てたら、という想いからこのマスクを寄付させていただきました。



### 社会課題に取り組むファッションブランド「coxco」とのプロジェクトがスタート

社会課題に向き合い、取り組むファッションブランド「coxco(ココ)」を運営する株式会社coxcoと業務連携し、ファッションの廃棄問題に対する取り組みを開始しました。第一弾として、洋服を作る上で最低限出してしまう過去のサンプル生地を活用したアイテムを9月4日(金)から9月29日(火)の期間限定で、クラウドファンディングにて先行販売し即日完売、その後はcoxcoのオンラインストアにて受注販売を継続しています。



### 次世代事業の創出に向けたデジタルトランスフォーメーション推進

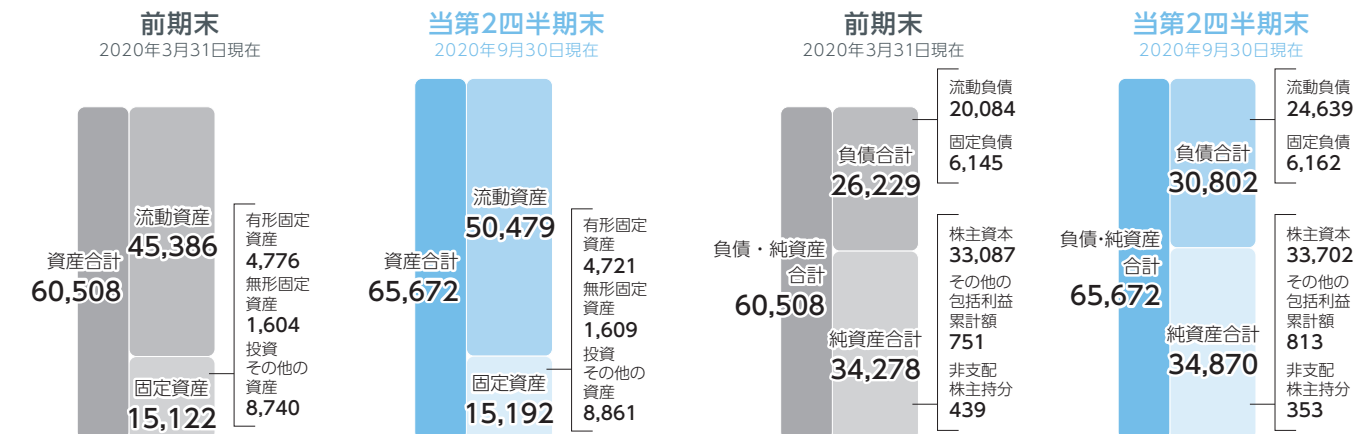
#### Tokyo Fashion technology Lab(TFL)との合同展開催と、PLUG-IN展示会への共同出展

株式会社TFLが運営するファッションテック専門スクール「Tokyo Fashion technology Lab(TFL)」の「バーチャルファッション研究会」と共に、産学連携の成果「ファッション3DCG」の活用を兼ねた、2021年春夏素材展を7月に開催いたしました。また10月には、織研新聞社主催の合同展「PLUG-IN」に当社とTFLで共同出展し、3DCGデータ×VR技術を活用した「リアル&バーチャル展示会」[3D仮想空間ファッションショー]「バーチャルキャンパスでのオンライン授業」等の展示を行う等、デジタルトランスフォーメーションへの取り組みを加速させています。



## 連結財務データ

### ● 四半期連結貸借対照表 (単位:百万円)



### ● 四半期連結損益計算書 (単位:百万円)

